

<取材のお願い>

2022年9月14日

奈良女子大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

Bangladesh の理系女子大生らが、奈良女子大学で数理科学を学ぶ ～高度女性人材育成への貢献とグローバル化を目指して～

奈良女子大学理学部では9月24日(土)～9月30日(金)、Bangladesh のチッタゴン大学から学部生8名、大学院生2名、教員1名の計11名を招き、数理科学分野での学術交流プログラムを行います。数理科学はすべての科学技術イノベーションの核となる重要な分野であり、複雑な自然現象やビッグデータを解析するための基礎となる学問です。

今回招へいするのはいずれもチッタゴン大学側から推薦された理学系研究分野を専攻する優秀な女子学生で、事前にオンラインによる面接ならびにセミナーでの質疑応答を経て10名の参加者を決定しました。

急速な経済発展を遂げる Bangladesh では、年齢20歳以下の若年層が人口の大半を占め、総人口に占める生産年齢人口の割合が上昇しており、当面、好調な経済発展が続くと見込まれています。このような社会発展に伴い、専門の知識や技術をもった高度人材の育成が急務になっています。今回のプログラムを通じて、女子の高等教育に長い歴史を持つ本学が、 Bangladesh の数理科学に関わる女性人材の育成に貢献するだけでなく、日本人学生の国際化への意識を高めることを目指します。

プログラム期間中、学生たちは複雑な現象を数理モデルとして抽象化する数理モデリングに関する講義を受講し、シミュレーション実験を通じてモデルの振る舞いを解析する特別演習に取り組みます。特別演習では数理科学の分野で広く普及している python を用いたプログラミングとシミュレーション解析を行います。本プログラムの仕上げとして、学生自らが問題を設定し、これを解決するための手順・方法についての発表を行う特別研究にも取り組みます。研究課題を自ら設定することで、数理科学を様々な科学イノベーションに応用するという意識を涵養させることが目的です。また、数理科学に関する学術交流にとどまらず、日本人学生と日本と Bangladesh の文化を紹介し合う意見交換の場も複数回設定しています。

今回の交流プログラムは科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」*に採択されたもので、2017年度から5回目の実施となります(昨年はオンライン実施)。これまでの交流プログラムを通じて、本学へ交換留学生派遣や国費留学生としての留学の可能性についての打診が複数件あるなど、日本への留学意識が高まっています。また、2017年度に実施した本プログラム参加者数名が、帰国後バン

グラデシュの大学教員として採用され、教鞭を執っています。この背景には、本プログラムで学んだ知識や技術が採用の際に活かされた可能性が大いにあると思われ、バングラデシュの高度女性人材育成に貢献できたと考えます。

<参考>過去のさくらサイエンスプログラム活動レポート

2017年度 https://ssp.jst.go.jp/report/2017/k_vol041.html

2018年度 https://ssp.jst.go.jp/report/2018/k_vol070.html

2019年度 https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k_vol030.html

2021年度 https://ssp.jst.go.jp/report/2021/k_vol111.html



2017年度



2018年度



2019年度



2021年度

つきましてはご多忙中とは存じますが、講義や特別演習、日本時学生との意見交換の様子などを取材して頂きたいお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、高須教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

■奈良女子大学の実施担当者
高須教授の研究室ウェブサイト
<http://gi.ics.nara-wu.ac.jp/>



【実施内容】

- 講義
- 特別演習(シミュレーション実験)
- 特別研究:グループディスカッションを通じた問題解決授業
- 日本とバングラデシュの文化を紹介し合う意見交換会

【研修日程概要】

- 9月24日(土) 午前:関西空港着 奈良到着
午後:オリエンテーションガイダンス
- 9月25日(日) 午前:講義
午後:講義・特別演習(シミュレーション実験)
- 9月26日(月) 午前:講義
午後:講義・特別演習(シミュレーション実験)
- 9月27日(火) 午前:講義・特別演習(シミュレーション実験)
午後:講義・特別演習(シミュレーション実験)
奈良女子大教員・学生との意見交換会

- 9月28日(水) 午前:特別研究
午後:特別研究
奈良女子大教員・学生との意見交換会
- 9月29日(木) 午前:特別研究
午後:特別研究発表会
- 9月30日(金) 午前:奈良女子大学学生との交流会
午後:関西国際空港より帰国

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

奈良国立大学機構 奈良女子大学 国際交流センター

電話： ██████████ Eメール ██████████

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話： ██████████ Eメール ██████████ (担当：田中(禎)、太田)